

2022 年 9 月 12 日

日本トランスシティ株式会社

取締役社長 安藤 仁

中部地区の物流施設で初の認証取得 三重朝日物流センターがABINC認証を取得

当社は、大和ハウス工業株式会社が現在建設中の「三重朝日物流センター」（2023 年 6 月 30 日の竣工と同時に当社が取得予定）において、生物多様性に配慮した環境保全の計画が評価され、このたび、同社とともに「一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）」の「いきもの共生事業所®認証（ABINC 認証）」を取得しました。

ABINC 認証は、オフィスビルや集合住宅、物流施設などの土地利用における生物多様性保全への取組みを一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)が開発した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」および「土地利用通信簿」を認証基準として、ABINC が第三者評価・認証するものです。

今回、認証を取得した「三重朝日物流センター」の敷地は、生物多様性に貢献できる多様な緑地や水面等を有しております。今後、敷地全体の樹木を鳥類が好む在来種を中心に植栽することで、鳥による種子散布などを通じて新たな在来種の生息を図ってまいります。また、侵入する常緑樹および外来種の樹木を選択的に取り除くことで、地域に本来生息・自生していた植物による緑地の構成を目指してまいります。施設の南東角には、周辺の川や水田等の環境と調和した水辺ビオトープ（生物の生息空間）エリアを設置し、より多様な生物が生息できる環境を創出します。また、施設周辺で、ホタルの生息が確認されていることから、将来的にはホタルが生息できるような水辺環境を目指してまいります。

さらに、地域と生きものが共生できる地域づくりや次世代の環境教育に貢献するために、今後、地域と協力して地域住民や従業員に対して、施設内の緑地を利用した「生きものの放流」や「生きものの観察」等の環境教育プログラムの実施を検討してまいります。

日本トランスシティグループは、サステナビリティ方針に基づき、今後も4つのマテリアリティ「環境に配慮した事業推進」、「人財の尊重」、「安全で高品質なサービスの提供」、「地域への貢献」の取り組みを進めてまいります。

以 上

本件についてのご照会は、総務部（059-336-5018 鈴木）までお願いいたします。

三重朝日物流センター植栽イメージ図

事務所周辺エリア

コナラ・アハマキ群集の構成種を基本に樹冠が閉鎖する雑木林を創出。また、事務所棟に隣接することから、休息の場となるよう構成。



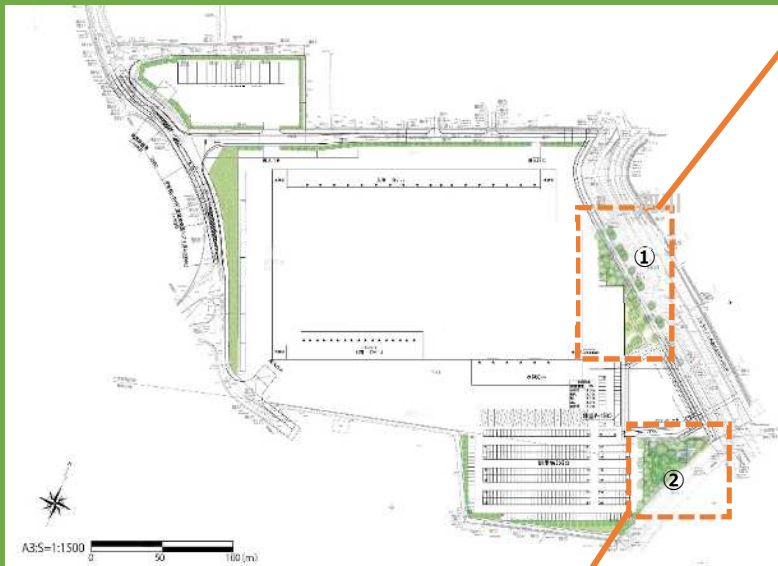
コナラ



ヤマツツジ



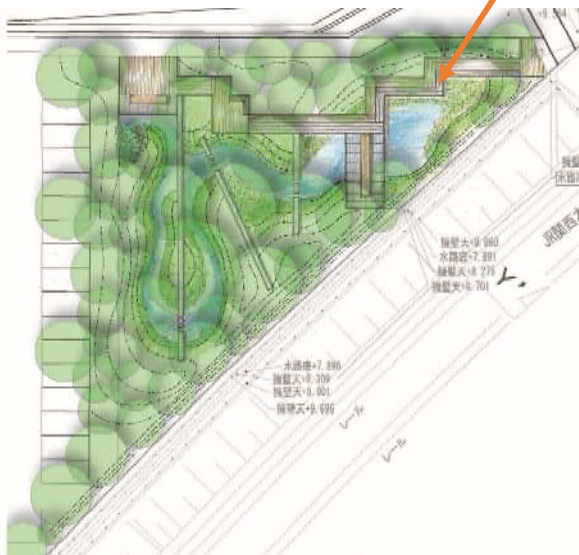
ヤマザクラ



ビオトープエリア

多くの生きものが生息できる水辺を創出。水路の周辺は、ホタルの生息環境を考慮し、半日陰の緑陰を創出。

植栽は、河畔林に見られるエノキ・ムクノキや湿地に見られる草本類等で構成。



ハンゲショウ



ミソハギ



トチカガミ



ウメモドキ



ムクノキ

※上記はイメージ図であり、一部、実際の設計とは異なります。